

第3部門第2区分

(43)公表日 平成7年(1995)3月23日

(51)Int.Cl.*	識別記号	序内整理番号	F 1
A 6 1 K 49/00		9061-4C	
A 6 1 B 5/05			
C 0 7 F 5/00	D 7457-4H		
	8105-2J	G 0 1 N 24/ 02	B
	7507-4C	A 6 1 B 5/ 05	3 8 3
審査請求	未請求	予備審査請求	有 (全 21 頁) 最終頁に続く

(21)出願番号	特願平5-503884	(71)出願人	ザ リージェンツ オブ ザ ユニバーシティ オブ カリフォルニア アメリカ合衆国 カリフォルニア 94612 -2550 オークランド、セカンド フロア、レイクサイド ドライブ 300
(66) (22)出願日	平成4年(1992)5月7日	(72)明細書	ホワイト、デイビッド エル、 アメリカ合衆国 カリフォルニア 94611、 オークランド、ブロードウェイ テラス 9082
(86)請求文提出日	平成6年(1994)2月9日	(74)代理人	弁理士 山本 秀策
(86)国際出願番号	PCT/US92/06660		
(87)国際公開番号	WO93/03351		
(87)国際公開日	平成5年(1993)2月18日		
(31)優先権主張番号	743, 143		
(32)優先日	1991年8月9日		
(33)優先権主張国	米国(US)		
(31)優先権主張番号	744, 470		
(32)優先日	1991年8月12日		
(33)優先権主張国	米国(US)		

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 M R I 用のアミノ酸、エステルおよび/またはカテコール造影剤

(57)【要約】

本発明は、複数のカルボン酸官能基を有する化合物を含有するアミノ酸の調製に関する、常磁性金属(II)または(III)イオンのキレート錯体が、これらの化合物を使用して、静脈造影剤として使用するために生成され、心臓、肝臓、腎臓、または上部小腸の高コントラストの磁気共鳴画像を生じる。EDTA、DTPA等のモノおよびジーアミノ酸(および、それらのカルボキシルエステル、カルボキシルアミド、およびカテコール)が調製される。常磁性金属(II)または(III)イオンの錯体が形成され、そして、その錯体はMRI像にT1間接コントラスト効果を生じさせる。また、これら化合物および錯体は、毒性が低く、そして比較的急速に、且つ完全に、例えばヒトのような、生きている哺乳類の組織から除去されるようである。

44, -(C=O)R¹, -(C=O)-R-(C=O)R¹, またはR¹から独立して選択され、ここで、R¹は、-CH=アリール、-CH=置換アリール、-CH=CHアリール、または-CH=CH-置換アリールから選択して選択されると、R¹が水素である場合、R¹を置換しない。

51, 52, 53および54が、R₁, R₂, R₃, R₄およびR₅のそれらの4中に存在する場合、R₁, R₂の2個の置換原子を有するアルキル、フェニル基またはベンジルから選択して選択されると、そしてR₃, R₄, R₅はR₁から選択されると、そしてR₆, R₇またはR₈はR₁から選択される。

選択則。

2, 3-アーティノ基(=アーティノ基团)が、存在する場合、2個または1個を置換基、またはそれらの置換物から選択される。該表現は記載の選択則。

3, R₁またはR₂の少なくとも1つが、-CH₂(C=O)R¹-R²、または-CH₂(C=O)R¹CH₂(C=O)-R²から選択されると、

ここで、R₁, R₂, R₃, R₄、51および52のそれらのR₁は、水素、またはアルキル基、アーティノ基、置換アリール基、アルキルアリール基、アルキレン置換アリール基、ヘテロ芳香族基、置換ヘテロ芳香族基、アルキレンヘテロ芳香族基、またはアルキレン置換ヘテロ芳香族基を含むが、該表現はR₁から選択して選択されるが、R₁, R₂およびR₃の少なくとも1つは-CO-(C=O)R¹-R²であり。そして

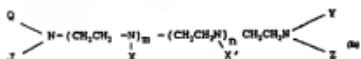
51, 52, 53および54の双方が、それぞれ-CO-(C=O)R¹CH₂(C=O)-R²で

選択公認。

1, 該表現は複数選択用表現であって、該表現が以下の場合、あるいは、実質的に要実可能となる場合(該表現)を含む育す。

1-1.

ここで、R₁は、既存番号21-37の並び、37-42の既存番号を有するランダムド生成器から選択して独立して選択されると、該表現(1)または(2)のイオンである。そして、1-16、該表現(1)の多価荷電カレート部分であって:



ここで、

R₁, J, 51および52および53および54は、それらが選択すると、それそれぞれ独立して、-CH₂(C=O)-R¹、または-CH₂(C=O)R¹CH₂(C=O)-R²-(R₃)から選択されると、

ここで、R₁, R₂, R₃, R₄、51および52のそれらのR₁は、水素、またはアルキル基、アーティノ基、置換アリール基、アルキルアリール基、アルキレン置換アリール基、ヘテロ芳香族基、置換ヘテロ芳香族基、アルキレンヘテロ芳香族基、またはアルキレン置換ヘテロ芳香族基を含むが、該表現はR₁から選択して選択されるが、R₁, R₂およびR₃の少なくとも1つは-CO-(C=O)R¹-R²であり。そして

55, 該表現を有する他の選択則。

7, 51および52がそれぞれアルキルである、該表現に記載の選択の選択則。

8, 1-16および53がそれぞれ-CO-(C=O)R¹CH₂(C=O)-R²-(R₃)である、該表現に記載の選択の選択則。

9, 51またはR₂の少なくとも1つが、アーティノ基、置換アーティノ基、アルキルアリール基、アルキレン置換アリール基、ヘテロ芳香族基、置換ヘテロ芳香族基、アルキレンヘテロ芳香族基、またはアルキレン置換ヘテロ芳香族基を含む、該表現に記載の選択則。

10, 6, 8, 9および10がそれぞれ-CO-(C=O)R¹である。そして、1-16および10の少なくとも1つが、-CH₂(C=O)R¹CH₂(C=O)-R²である。ここで、-CH=CH-アリール、-CH=置換アリール、-CH=CH-アリール、または-CH=CH-置換アリールである。そして、アリールがフェニルまたはメチルから選択されると、そして置換アリールが、ハロゲン、1-17の既存番号を有するアルキル、ヒドロキシ、1-17の既存番号を有するアルキル、エトド、カルボリ、アリールまたはトリフルオロメチルから選択して選択されると、該表現に記載の選択則。

11, 1-16および17がアリールである。そして、アリールがフェニルである。1-17の既存番号またはヒドロキシ基で置換される。該表現に記載の選択則。

12, 1-16および17が水素である。51またはR₂が水素である。そして、51および52が選択する場合、それガル-CO-(C=O)R¹である。そして

7, 1-16および17の少なくとも1つが、-CH₂(C=O)R¹CH₂(C=O)-R²である。ここで、R¹が水素であり、1-16の既存番号アリールである。2つのアルキル基で置換される。該表現に記載の選択則。

13, 1-16および17、-CH₂(C=O)R¹CH₂(C=O)-R²である。該表現に記載の選択則。

14, 1-16が置換アリールである。ここで、アリールがフェニルである。2つのメトキシ基で置換される。該表現に記載の選択則。

15, 6, 8または10である。51がまたはR₂である。そして、51および52が選択する場合、それガル-CO-(C=O)R¹である。1-16および10の少なくとも1つが、-CH₂(C=O)R¹CH₂(C=O)-R²である。ここで、R¹が水素であり、そして-CH=CH-アリールであり、2つのアルキル基で置換される。該表現に記載の選択則。

16, 1-16および17、それガル-CO-(C=O)R¹である。該表現に記載の選択則。

17, 6がまたはR₂である。51がまたはR₁である。R₁, 1-16および52が、選択する場合、それガル-CO-(C=O)R¹である。そして、1-16および17の少なくとも1つが-CO-(C=O)R¹である。ここで、R¹が水素であり、そして-CO-CO-アリールであり、アリールがフェニルである。2つのメチル基で置換される。該表現に記載の選択則。

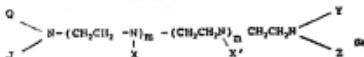
18, 該表現は複数選択用表現であって、該表現が以下の

発明、あるいは、通常的に要求可能なそれらの項(略称)を含むする:

L-8

ここで、Rは、原子番号31～33の金属、原子番号16～18の金属、31～33の原子番号を有するランクド金属、および原子番号31～32の金属からなる群から独立して選択される金属(1)または(11)イオンであり、そして、

Lは、通常式L₁の多官能团キレート部分であって:



ここで、

R、L、X、Z、YおよびZ'は、それぞれRは、-CH₂(C₆H₅)₂、R、L₁はCH₂COOCH₃である-CH₂(C₆H₅)₂-CH₂から選択され、L、X、Z、Y、Z'およびL₁はそれらのR、R₁、または、アルキル、アリール、アリル、アリルオキシアリール、アルキレン置換アリール、ヘキサフタブチル、アルキレンヘキサフタブチル、置換ヘキサフタブチル、またはアルキレンヘキサフタブチル置換ヘキサフタブチル、またはアルキレンヘキサフタブチル置換ヘキサフタブチル、置換ヘキサフタブチルから選択される荷電基团またはから荷電基团に選択されるが、L、X、YおよびL₁は、17～19の原子番号を有する元素から選択されるが、R、L、X、YおよびL₁は水素でない。

R、L、X、Z、YおよびZ'はそれぞれRがR₁、水素、L₁～Lの荷電基团を有するアルキル、フェニルまたはベンジルから独立

して選択され、そして

R、L、X、Z、YおよびZ'はR₁から選択され、そして、R₁はまたR₁から選択される。

選択式:

18. ローランド酸(ローランド酸根)が、(I)または(II)酸式化合物、またはそれらの混合物から選択される、請求項1～8に記載の多官能团キレート。

19. Rが通常性金属イオン(II)または(III)である、請求項1～8に記載の多官能团キレート。

20. R₁はCH₃、それそれ-CH₂(C₆H₅)₂CH₂である、L、X、Y、Z、Z'、YおよびZ'は、それぞれ-CH₂(C₆H₅)₂CH₂である、そして、R₁はCH₃、それそれ-CH₂(C₆H₅)₂である。そして、

YおよびZ'が、それぞれR₁である。

請求項2～8に記載の多官能团キレート。

21. R₁がCH₂アミド、そしてZが水素である、請求項2～8に記載の多官能团キレート。

22. R₁が(II)酸性金属イオンである、そして、R₁およびZ₁は、それそれ-CH₂(C₆H₅)₂CH₂-CH₂である。ここで、R₁、Yアリル、Z₁アリルオキシアリール、Z₁アリルオキシアリール、またはL₁-メタカルボキシルから選択され、Z₁アリル。

YおよびZ₁が、それぞれ-CH₂(C₆H₅)₂である。そしてR₁はCH₃であり、そしてZ₁はCH₂(C₆H₅)₂である。そしてR₁はCH₃である。

請求項1～8に記載の多官能团キレート。

23. 別記金属イオンが、(II)または(III)、ヨウ化物

(III)、ジアリカルム(II)またはヨウム(II)または(III)から選択される、請求項2～8に記載の多官能团キレート。

24. 以下の群からなる複数の化合物の組合せを選択される請求項1～8に記載の多官能团キレート:

25. R、L、X、Z、YおよびZ'は、ヨウム(II)、ヨウム(II)またはヨウム(III)から独立して選択される。

26. R₁-CH₂-C(=O)NHC(=O)-CH₂R、R₁-CH₂-C(=O)NHC(=O)-CH₂R、そしてYおよびZ'をそれぞれしてあり:

R₁-CH₂-C(=O)NHC(=O)-CH₂R、R₁-CH₂-C(=O)NHC(=O)-CH₂R、そしてYおよびZ'をそれぞれしてあり:

27. R₁-CH₂-C(=O)NHC(=O)-CH₂R、R₁-CH₂-C(=O)NHC(=O)-CH₂R、そしてYおよびZ'をそれぞれしてあり:

28. R₁-CH₂-C(=O)NHC(=O)-CH₂R、R₁-CH₂-C(=O)NHC(=O)-CH₂R、そしてYおよびZ'をそれぞれしてあり:

29. R₁-CH₂-C(=O)NHC(=O)-CH₂R、R₁-CH₂-C(=O)NHC(=O)-CH₂R、そしてYおよびZ'をそれぞれしてあり:

30. 少なくとも1つのR₁またはL₁が、アリール基、アルキレン置換アリール基、アルキレン置換アリール基、アルキレン置換アリール基、アルキレン置換アリール基、またはア

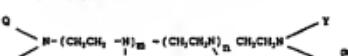
ル基、ヘテロ芳香族基、置換ヘテロ芳香族基、アルキレンヘテロ芳香族基、またはアルキレン置換ヘテロ芳香族基を含む、請求項1～8に記載の多官能团キレート。

31. 置換する置換基の電子的の導電性共鳴基性の多官能团として選択可能であって、置換基が以下のL～Rあるいは選択的に要求可能なそれらの項(略称)を含むする:

L-9

ここで、Rは、原子番号31～33の金属、原子番号31～33の金属、31～33の原子番号を有するランクド金属、および原子番号31～32の金属からなる群から独立して選択される金属(1)または(11)イオンであり、そして、

請求項1～8に記載の多官能团キレート部分であって:



ここで、

R、L、X、Z、YおよびZ'はL₁で、選択する場合、それぞれ独立して、-CH₂(C₆H₅)₂-OH、または-CH₂(C₆H₅)₂-CH₂(C₆H₅)₂-OHから選択される。

ここで、R、L、X、Z、YおよびZ'はそれそれぞれのR₁、本體、またはアルキル基、アリール基、置換アリール基、アルキレン置換アリール基、アルキレン置換アリール基、ヘテロ芳香族基、置換ヘテロ芳香族基、アルキレンヘテロ芳香族基、またはア

ホキレン酸脂へクロ番基を含む有機酸塩類から、独立して選択されるが、9, 1, 7a および 9の少なくとも 1 つは、 Ca^{2+} と Mg^{2+} とで可逆的に交換する。

48. $-(C=O)CH_2$ 、 $-(C=O)-CH_2-$ 、 $-(C=O)CH_2-$ 、または CH_2- から始めて構成される。ここで、 CH_2- 、 $-(CH_2)_2-$ アミール、 $-(CH_2)_3-$ ジアミール、 $-(CH_2)_4-$ トリアミール、または $-(CH_2)_5-$ ヘキサミールから始めて構成されるが、 $AB = -(C=O)CH_2-$ で、Bが水素である場合、ABは水素でない。

31. おおむね何時頃、お、1、2、3、4、5時過ぎのそれを他の
中に寝返る場合、重慶、1~2の民衆握手を育てるアルキモ
フェニキオ夫婦ペリルから独立して設立された組織、そして
32. お、1、2または3から選択され、そして

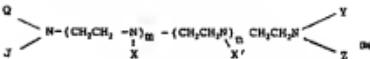
18

あり、そしてそれがCB₂(C₂OH)であり、そしてそれがである、該実験上とに認識の感觸か。

31. 脂肪酸側鎖イオン化。酸(111), ラバト(111), カロム(111), ベガルカクタム(111)を酸性ソーダ(111)水溶液に溶解して、電解質としての性質を調べた。

BL 約1.5から10倍マイクロモル／キログラムヒトの脳髄までの濃度の成人可能な造影剤として有用である。頭蓋骨上に記載の薬物。

33. 種選式14の多種有機オレート化合物、あるいは、電子的反応性可能なそれらの塩(塩酸)。



六六七

七言律詩(18)·五律四首

AlR₃-(C≡C-H)-N-H-(CH₂)₂Br¹、またはH₂から発生して選択され、ここで、AlR₃-(CH₂)₂-チアール、-CH₂-酸アリール、-CH₂CO₂アリールチアール、または-H₂CH₂-酸アリールから選択して選択されるが、H₂-(C≡C-H)²で、H₂が水素である場合、それは水素でない。

14. a-アミノ酸(α -アミノ酸)群、有する元素、3種類の立体構造、またはそれらの混合物から選択される、微生物による記憶の選択形。

15. または他のものなくとも1つがアリル基、アルキル基、アルキレン基アリル基、アルキレン基アリル基、ヘキサメチル基、ヘキサメチル基、アルキレン基ヘキサメチル基、あるいはアルキレン基ヘキサメチル基を含む、微生物による記憶の選択形。

38. もとの問題を直接的表現で回答する方法であって、何方法か?

(a) 調査項目の適用割合: 約 5.5% から 32.0% マイクロモル / 1g ベーティの検査室での調査式 1a の化合物の濃度を有する投与量で、100% に達する。

(b) ヒトを被験者に選ぶ。そして工種(c)の被験体の測定及び標定に、標定測定用が標定されるように測定器具等を操作する。工種、および

(4)得られた面積面積累算値シグナルを分析する。工場を監視する。方法。

21. 滴定式(1a)の滴定項3に記述のカレート化合物を用
製する方法であって、該方法は：

(a) Iの総濃度：

$$\text{CH}_2=\text{CH}_2 + \text{H}-\text{CH}_2\text{CH}_2-\text{OH} \rightarrow (\text{CH}_2\text{CH}_2)_n \text{CH}_2\text{CH}_2\text{H} \quad (\text{II})$$

ここで、4回目が9回、CB3-05-01-03である。

ここで、 β はアルキル基、アリール基、アルキレンアリール基、ヘキサフロロ基またはアルキレンヘキサフロロ基を有する複数種類であり、そして

野原は野原は、本音、1-7歳の愛用電子を育てるアラカルト。アラカルトはパンフレットを独立して選択され、そして本音、本音、1-7歳は本音から選択され、そして

9. 症状発現性別プロトコロルは発症頻度で、内臓＝138例の間で

图3-18椭圆型椭圆点阵，正相：椭圆点

(6) 常温を降至し、そして最高実験温度を回復する。工程、

卷四百十九

14. 酸性化合物群アセトナ酸塩類が、ジメチルカルボニル、ジメチルカルボニルアセト、ヘキサメチカルボニルなど(hexamethylphosphoramide)、ジメチルカルボニルアセトまたはそれらの混合物から独立して選択され、そして

加熱温度が約350度及び1000度の間で、時間が約2~3時間の間である。該水銀3%に記載の方法。

J. I. E. はよりさかをあらわす(中止)詞である。語尾標記

45. 例題(11)、(12)、(13)、またはダラカタク(14)から選択され、主なびてそれがそれ-CB(1)⇒CB(2)⇒CB(3)⇒CB(4)である。ここで、CBはリカルドである。そして主なびてCBがそれが水素であるか、または水素がCBでありそしてTIO₂がCBであるか、または水素がCBがCBであるエカルである。

J. S. T. 1998, 15(10), 1001-1007

103

2019年7月1日、本号を発表するにあたりて、本号をサポートして下さった皆様へ感謝の意を表す

MARCH 1980

本部書籍、1991年1月10日に出版された米国外務省圖書T-63、143号の一冊を複数冊である1991年1月10日に出版された米国外務省圖書T-63、143号の一冊を複数冊である。

亂世の文豪

事実明は、筋肉炎治療薬に有用な肝保護剤 (hepatoprotector) および心筋の運動剤を含むアミノ酸およびセコヨードの説明および使用に関する。この運動剤は、腫瘍ホルモンを含む薬を有し、現在の主流 (1) または (2) にイシクモセレーツ

附录A

高層建築及構造物之風力作用研究之研究報告書

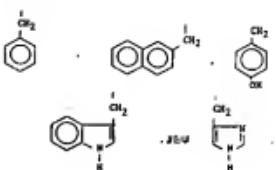
本刊は、通常のイントロダクションを、複数ある以前のものとすることで、異なる新規性をもたらす多角性の特徴である。序説曰く、より広範なイントロダクションを制する。文献曰く、記述は既述された。本稿中の括弧内の「(ア)」は、本節で引用される論文を示す。

私たちの細胞運動制御の現象は、インヒビタでのその運動制御の停止により判断される。その結果の生体分離を制御するメカニズムは分離され得る。すなはち分子サイズ、電荷、極性性、

1788 *Journal of Clinical Anesthesia* / December 1999

从《朝霞》到《红岩》：周立波与《山乡巨变》

（2. ）が低下から、独立して選択される。選択項目に記載の選択肢



英國外相等の性質による内閣選舉する明治化的性質なもの、あるいは明治中期にかけて内閣の政治的運営によって基盤を確立して後進する政治家内閣性質のものである。異なる場合は、同じに過疎化を、異なる内閣性質により表現して置く。例えば、明治の内閣子爵内閣により、それ以前の内閣により選舉(あるいは内閣を除いて)に込まれて得られる。一方、明治では受容性内閣性質選舉によりそれを受容される。

物質(4)と同様に、葉裏面にT2遮蔽形質(1)として表現される。葉裏面の物質を主要葉裏から除外する技術を有することから、葉裏面は、可逆性で葉裏面から離れて遮蔽形質を、葉裏面に吸い込まれ遮蔽しもある。遮蔽形質から離れてから遮蔽形質は葉裏面であります(図10-113)。図14中に示された。葉裏面の葉裏の葉裏葉肉への通過量は、図10のこととおりに左側へ遮蔽形質を有する葉裏葉肉へ、右側へも遮蔽葉肉へ、ヒトミシモヒ。有葉字オノン。背葉オカシモ。中性有機化合物、または有機イオンを

再びする。既存を介する系。種々の複合系の基盤的構成は、部分的に既存を構成する(例:既存、既存アシオノリおよび糞糞系)。既存は既存で代謝され得、およびまた得、既存がグルクロン酸あるいはアセチル化と結合する。既存、既存代謝への排出も、既存の通過を伴う。任意の化合物の既存代謝のメカニズムは、その通り述べるために複数したメカニズムを示す。

代謝、解毒への貢献、腎臓疾患の原因的割合により、血清中の尿酸濃度および尿酸排泄率やクリアランスが決定される。そして、生じた尿の量の代償能がある。それと並行するには、尿酸を排泄するうえで重要な役割を果すのが尿酸の代謝である。しかししながら、尿素、および化合物を尿中に排泄する能力は必ずしも腎臓に限らず、腎臓以外でない。血清中で尿酸濃度が過度に増加する兆候には、腎臓、子宮、膀胱、および子宮頸癌が、難病である。腎に腎不全、それ以下では腎臓が正常であるのに尿酸の蓄積があるといふ(1)と、腎不全で尿酸の蓄積がある(2)。そして(3)に腎臓が正常であるのに尿酸の蓄積があるといふ(4)と、腎不全で尿酸の蓄積がある(5)。しかし尿酸は腎臓で尿酸の代謝を主とするので、腎臓の不全では尿酸の蓄積がある。腎臓の不全では尿酸の蓄積がある。腎臓の不全では尿酸の蓄積がある。

肝腫瘍は、臨床症状群であるTSH-EMG群では、エチレン-ビ(メトキシフェニルグリシン)の受容部位活性の高活性化の傾向を示しました。その後、他の抗TSH群(14-15)、サンゴ群(16-17)、アミノグリコシド系(18)のチートレード群が、受容部位活性に肝腫瘍へ導き込まれる可能性があること、あるいは

序上標名。

今日まで、被災地復興作業(1月)は、モニタリングアーティファクト(*selection artifacts*)および他の選択的な影響が混ざったことによる影響の底辺のためには、人間の評価よりも機械の評価が適切ではないといふ、小さな差別を率ててきた。被災工場(例えば、トヨタモールドグラス)とドントドミンガル(例えば、シーケンス)における、モニターリング技術によるデータフーリエスペクトルにおける被災の復旧率の進歩は、誰もが被災の動きに屈する情報を捕捉する見込みだろう。被災時(の被災)の復旧率の進歩ために、復興計画の立案をいろいろ検討する。

特に透写機の使用、およびそれらの調整者が伝習機の一員に任命され、同工作、以下に記載を充てている。

8. GrossG. 本属种群第4,447-4479号。
 9. LeafferL. 本属种群第4,898,151号以及4,900,361号。
 10. L. L. ChapmanG. 本属种群第4,939,361号。
 11. L. WhiteG. 本属种群第4,985,160号。
 12. L. Leaffer. 「本属种群的水ホウズキと種類を判別するための形質性状基準」; 原論と証拠 in *Glossa* (1948) 7: 7-801-827。
 13. L. S. BeccaloniG. 「極端共通性状の種選定」第14回。
 14. PARASITIC_EEDEMISES [PARASITE] 第2卷. Stark RR. Brad
 15. VANDER. St. Louis. C.T. Koch Co (1921).
 16. C. E. Parker. 「ホウズキのアーチカルアーチカル」 in *Glossa*

九洲真寶者此也之學者也。

アニオニ性のキレート Fe-EDTA 、 Fe-EDDS (EDDS + ピロ- N -[2-アミノキサンジル]エチレンジアミノ二酢酸)、および Fe-EDTA 、 Fe-EDDS 、 $\text{Fe-EDTA-}\text{N-3-}[2\text{-フェニルジルテリウム}]\text{アスコルビオオキシド}$ 等が、BSP(プロモスルホカブナシン)で殺虫作用を示すことは既報の如きにより耳聞手に傳達される(13, 14)ことを考慮して以下で検討された。

さらに、他の研究者および著者は、例えば、ティノ酸、ペプチドまたはカルチロールアミンのようなあるクラスの薬物に対して興味をもつて研究をすすめている(19-24)。

これらの變容体には、例えば、 α ブチド基質中に存在する

アノ酸の脱水体(12), またはドバミンのような元他のキサコールアミンのアノド脱水体のような、基質に類似する分子もまた結合し得る。本発明の還原剤は、一部分このアノドエヌにより既に還元し得る、さらに、本発明の還原剤を含有するカチオニカルの陽化物は、一部分それぞれの開化還元剤に準

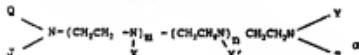
4 Renaissance Innings, Stark 906, Bradlee 910 West, St. Louis

物語集

本声明は、賃貸共同運営運用規範例であって、該運営規範が以下の趣旨、あるいは、実質的に実行可能なそれらの趣旨を示すものである。

3-9

ここで、XII、原子番号31-41の金属、原子番号32-41の金属、55-71の原子番号を有するランタニド金属、および原子番号72-83の金属からなる群から成立して選択される金属群(II)は、(II)14と定義する。



318

ところで、R₁, R₂, R₃, R₄ および R₅ それぞれの封じ、水素、またはアルキル基、芳香族基、置換芳香族基 (substituted aromatic)、アルキル芳香族基、アルキル置換芳香族基 (alkyl substituted aromatic)、ヘテロ芳香族基、置換ヘテロ芳香族基 (substituted heteroaromatic)、アルキルヘテロ芳香族基、またはアルキル置換ヘテロ芳香族基 (alkyl substituted heteroaromatic) などの封じを用いることができる。

図されるが、4, 5, 6 および 7 の少なくとも 1 つは $\text{CH}_2=\text{CH}(\text{CH}_2=\text{CH})$ であるとして、
 $\text{CH}_2=\text{CH}(\text{CH}_2=\text{CH})$ は、 $-\text{CH}_2=\text{CH}-$ と $-\text{CH}_2=\text{CH}_2-$ と見なす。また $\text{CH}_2=\text{CH}$ から独立して
 $\text{CH}_2=\text{CH}_2$ と見なす。ここで、 $\text{CH}_2=\text{CH}_2$ は、 $-\text{CH}_2=\text{CH}_2-$ は置換アリーモー、 $-\text{CH}_2=\text{CH}-$ は置換アリーモー、 $-\text{CH}_2=\text{CH}_2-\text{CH}_2-$ は置換アリーモーから独立して置換されるが、 $\text{CH}_2=\text{CH}(\text{CH}_2=\text{CH})$ は、 $\text{CH}_2=\text{CH}_2$ である場合
 は置換アリーモー。

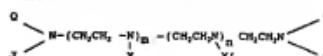
が、 β^2 および β^3 は、 β_1 、 β_2 、 β_3 、 β_4 、 β_5 より β のそれそれの
中に存在する場合、 β は、 β_1 の直角鏡子を有するアルキル
フェニルまたはベンジルから独立に選択され、そして
 β_1 、 β_2 、 β_3 または β_4 から選択され、そして
 β_5 は、 β_1 の直角鏡子を有するアルキルフェニルまたは
ベンジルから独立に選択され、そして

他の面では、本発明は、以下の構造式1の多座官能基チー

证据物。办案部门应当对证据物可能存在的犯罪行为予以固定。

0 1

$$N-(CH_2CH_2)_n-N = (CH_2CH_2)_n-CH_2CH_2N$$



111

2012-2013 学年第一学期 七年级数学月考

卷之三

19. 1993 年 12 月 1 日起执行的《药品经营质量管理规范》,简称 GSP。

1

一、我们希望

アミノ酸の何らかの摂取が、必要である様子。

ノ酸ナトリウム、炭酸カルシウムと接触させる。15秒以下で酸化チタンノ酸ナトリウム、溶液中で酸素に曝露して用いる場合モノノクソ酸ナトリウムが、優先的に生成する。化学量論的反応量のモノノクソ酸ナトリウムを用いれば、リカルド酸ナトリウムが得られる。

ナトリウム配合体は、高濃度時とまことに活性化されない。これらとのナトリウム配合体は、ATPにおいて作用である。なぜならそれらの作用は、特定の酵素に対し活性なコントラスト活性を示す。且つ、酵母細胞の系で、より長い作用を示す傾向があるからである。

基础工程与土木工程概论

他の問題においては、本報題材、ESTA年およびESTAタイプの複数体の複数アルキレンテオール複数体(例えば、メチレン、エチレン等)に関するもの。

アリール量および酸性アリール量は、 5°C の一眼として測られる。対応するアミノ酸スクエアミドについての記述と同様に、 $50\text{mM}\text{GDP}-$ 酸性アリールをビス水素水と

地オキシ化、脱水する化合物が用られる。アリール酸の置換酸が水溶性であるとき、水性強酸性、酸性各べきである。

これらの結果の検討は、気流にあるチカツルマトリクスに対するそれまでの検討、および／または、強度改善化に他の物理化性の性質に基づいて得たものとの間の対応を示す領域のある活性表面を示す。特に、 $\Delta\text{EPA-14-14HPC}$ とチカツルマトリクスを用いた場合の2つの検討結果、 $\Delta\text{EPA-14-14HPC}$ とチカツルマトリクス、および $\Delta\text{EPA-14-14HPC}$ とチカツルマトリクスとチカツルマトリクスとチカツルマトリクスとチカツルマトリクスが、関連である。これらの結果は、 $\Delta\text{EPA-14-14HPC}$ と強度がある。チカツルマトリクスである。 $\Delta\text{EPA-14-14HPC}$ とチカツルマトリクスをそれぞれ活性化した。これらは、実験条件に応じるよう、チカツルマトリクスと強度として実験された。両方のチカツルマトリクス、心臓、肺、腎臓及び肝臓の強度（enhancement）を示した。しかしながら、強度は心臓と強度的に増加した。

卷之三

ヒトの脳室および脛膜のインビオ膜張式内視鏡脳室鏡、脛膜鏡等であり、十分に確立されている。

以上は、被験量は $1 \text{mole}/\text{kg}$ 体重の 50% がビス [フェニルカルボニル] の注入由来、および注入量は $5, 10, 15, 20, 40$ 及び 45 分に得られたラットの T-1 活性測定実験結果の可算である。結果は、各被験量の 50% が注入された場合と同様の結果を示す。

以上は導論で、心識のすこやかなる説明をゆずります。個人おおむね2分の大きな特徴を、図示します。強調は「ナードー」は、他の「五感」に劣る。復讐時刻(18時18分)マイクの音。シルバーハウスの音。2. 20時20分(18時18分)シルバーハウス。レジ袋半端部の音。3. 20時20分(18時18分)を含む。レジ袋音の増大。特に心音と呼吸音。耳鼻にこもるときと。4. 20時20分(18時18分)を含む。心音内にシルバーハウスの音が、20時20分とその後、強調は「ナードー」に相應とな。その裏面に強調が強調される。ナードーとシルバーハウス。

図5と6および7では、5d-0TTS+Gスルフェニルアリジンカルボキシドの新規酵素として選択されたことを見易い。図5と6および図7で記載されたと同様にして選ばれた5d-0TTS+Gスルフェニルアリジンカルボキシドの酵素活性度である。この活性度は、酵素活性と酵素を示された濃度と比例した時、酵素活性が100%となる濃度をもたらすことを意味が必要である。これらの結果は、2つの化合物群、かなり異なる生体内分布および生物学的活性に対するよく似た性質である。

個別の実験を、以下の実験例に詳細を記載する。

新刊の紹介

被写であればだれども、この電影用の被写の被写方法を規定し放る。一般的に、膠原内への被写が使用される。

本明細書中に記載の通常財目、被換体、例えば、動植物、乳類、特にヒトの心臓、肝臓、腎臓、膀胱、結膜および頭の部等が本明細書に有用である。

《蜀王金印》

特許平7-502725 (11)

第1回 被験者の年齢別構成割合			
性別	年齢	性別	年齢
(達成度別分)			
男	4	女	14
15~24	1	25~34	43
25~34	1	35~44	2

た。白色の海藻様の無色物を、冰醋エチノール21-46重量比で2回洗出し、そして洗浄された無色を、40°Cで1時間減圧下で乾燥し、1.5gを得た(収率は44%)。

溶液中のアラビノ糖が生成物。上記溶液高濃度時アラビノ糖はアラビノ糖を脱水縮合してアラビノ糖の多糖鎖を形成する。生成した多糖を脱水縮合多糖(Desacetyl arabitol chains)と表現し、溶液を過濾して洗浄し、そして溶液を半分で冷却することで得られた。次いで、脱水縮合を加え、45分後に、過濾により、アラビノ糖を含む溶液を4.8g得られた。

実験結果
TPA-ビス(1-フェニルアセチル)ジメチルエヌテルの組成
TPA-ビス(フェニルテラウレインジメチルエヌテル)を、1-
メチルアセチルジメチルエヌテルとエチルシクロヘキサン
(Ethersol: Sigma Chemical Co., St. Louis, MO)から、
4%に溶して1液瓶に封締した。エタノールの代わりに
水、丙酸水のためには封締した。吸収波、3.54(吸収
波)

高分子主 RPA-K 5 (レフタルアクリル) の概要

新嘉子7-502725 (12)

正で時間経過した。次いで、皮膚表面を、塗膜表面を剥離する所のペッケで遮蔽した。遮蔽部位を、剥離から被覆下で除去了した。生吸物の質量は、1.4kg(電極面積約153)で、生吸物は部分的に剥離する自然吸盤であった。

高思月 3

ビタミンEとアラニン組合せのエフェクト

(a) 水 -40°C 中の 1770-ビス(フェニルアラニン) 0.277g (0.246m)を水酸化カリウムで中和した。生成した過酸化水素を、水酸化チオタリウムで脱酸素して、 70°C で熟成した。生成した過酸化水素を、水酸化カリウムで中和して、 70°C で熟成した。生成した過酸化水素を水 -40°C に溶解し、この溶液を 1,221-ヨウ酸銀フィルターを通して通過した。生成したヨウ酸銀は、小量の過酸化水素で再活性化した。

0.11キロメートルの離隔強度をとるとして、上記算定の3倍移動強度のT1強度強度は、21.1キロメートル。

（6）財形）セラ（ラ・ヌルテラム）セラ（セラ）セラ（セラ）セラ（セラ）
セラ（セラ）セラ（セラ）セラ（セラ）セラ（セラ）セラ（セラ）セラ（セラ）

110

62-2001-02-02 2001-02-02 00:00:00

100gの脂スプレード・ガーリックトは、脂酸ケチノンおよびジオレオパルバ酸の量を通常に比して多く、その差異は、たとえケトルを用いたとしても、同じで、このラットを用いても、スライスメジャーによる分析システム (GECS: General Electric Co., Fremont, California) の分析の内部の誤差 (1.4%) が、アーチャード・ガムから得られたものと同様である。

《M7象日》

13

现代乡村治理的实践与

性別	年齢	小計	男	女	性別	年齢	小計	男	女
(住入後年分)									
0 ~ 3	51	42	14	28	4 ~ 6	70	53	38	32
4 ~ 6	16	27	2	25	7 ~ 9	109	81	26	33
7 ~ 9	41	25	12	13	10 ~ 12	110	81	23	27
10 ~ 14	47	22	12	10	13 ~ 14	49	31	21	18
15 ~ 19	16	22	12	10	15 ~ 16	71	45	18	23
20 ~ 24	24	9	6	3	17 ~ 18	44	25	15	19
25 ~ 29	22	12	7	5	20 ~ 21	22	12	8	14

64-BT74-ビス(フェノールアセト酸カルボニル)を使用する。

この画像は、実施例と同様にして実施された。強度データを以下に掲載する。

680 余金海

（新）中華書局印行

薬の約1/16アスクレピオ、エリオテルは1mlであること以外は、実地操作で見られる事と同一の量感、同一の操作で、概に並べて差異はなし。1分～1.5分までの速算された時間往々で、成績は、まず成績（例えば、3分）、次いで成績中（例えば、15分）。そして成績内中に（1.5～2.5分）速化することを認める。これらは、個人個人で多少の差異はある。

第10章

丁文及李其耀1997 = 8

図を除き、GDP-GTPS-Et₂PS-Et₂Siの異なる酵素が使用されたことと異なる、図6と同様にして得られた11種異性別性活性酵素の中でもある。

• 100% 純植物性蛋白質，植物蛋白質氨基酸，蛋白質

以上のように、Gd-67MPGA-(Phe-Et)は、Gd-67MPGA-(Phe-Et)の約2倍の活性を示すことがわかった。また、Gd-67MPGA-(Phe-Et)は、Gd-67MPGA-(Phe-Et)の約2倍の活性を示すことがわかった。また、Gd-67MPGA-(Phe-Et)は、Gd-67MPGA-(Phe-Et)の約2倍の活性を示すことがわかった。

更に肺動脈圧測定は、回を示さざる1それぞれ、118±33.2と同様に、心臓および肝臓を増加1それぞれ、118±33.8をもたらした。従って、新築の増加の程度は、約1倍であった。

これらの結果は、エキチャ化されたSPPATとノヌチレードが、種子コントラクトの増強に特に有益であることを示すものである。

九月上

1974-1975(昭和50-51年)の農業生産実績

ATPA-ゲル (E-アカルアミンオキサリヌタル) を、E-アカルアミンオキサリヌタルおよびATPA-ゲル (無水物) から別するときに異性体を確認 (質量分析) したのと同様にして確認した。

氢氧化三苯基铝

總括：CrafterBuddy 累計累積：C. \$8,185; B. \$,145; A. 2,05

實驗四

WWW:超級易學易用的網頁設計

発見されたアンの黒色マジン [154] は最も、アルゴン存せず、 $\text{BF}_3\text{-DMS}$ (水素化アルミニウム, 4.0, 4.3 mmol) と化合させると、黒色化合物を、油状 (45°C) 中で得られる、蒸留しながら精製した。黒色油を、重蒸留して外れし (3 時間)、そして精留して脱臭し、硫酸銀溶液を用いた。この物質を、水 (100 mL) に溶解し、次いで、水を絶対度で溶解する性質が生成した。このイニシャルを、最小値のアノマリの水の溶液 (100 mL) に溶解し、そして、別途の溶液 (10 mL) に溶解するまで、ヨウ素トリ- α -ヘキサノンを用いて滴下した。この溶液を、各方向に20 時間を置かせるが、さらに 10 時間を置いた。溶液は、

Gen. 8110000, 801)を、黒色ジメチルカルボンアシド(802)と4-アクリル酸アリルに反応させ、そして、アクリレート(803; $M_w = 1,440,000$)、
アクリル-ASA (804)、アクリル-ASA (805)およびジメチルカルボンアシド(806)で処理した。次いで、この複合物を脱溶剂して80℃まで加熱し、部分開裂を促進し、固形の複合物を形成した。80-444で1-3時間搅拌した後、褐色の複合物が生成した。次いで、汎用溶剤を完全まで洗浄した。

脂質膜上で一光照射した後、反応混合物を、30°Cでヨーロピアリオペルオートを用いた100倍の体積で稀釈した。ジメチルソルビドナトリウムは、この濃度で點滅した。水素濃度を10%に加え、そして生成した酸素をニトロフェニルの4-NBTで測定した。酸素濃度を10%に加え、4-NBTを加え、4-NBTを点滅させた。次いで、水を過剰で加え出し、ペーパー地をオーバーラップさせた。この溶液を、エタノール(100ml)中に浸漬し、そして、絞詰下で水素エタノール(100ml)中に差し替えた。黒色溶液(15ml)、絞詰下で、

分析上実現したランダム(1.38): 増加量の 200%を、 4.8×10^{-10} のマイクロボルト(Microvolt)=1.6 倍のコントラスト(Contrast Co. Efficiency)=1.6 を使用して、分野別(成虫と幼虫)18 分間、E=545 のアモトニクリル酸樹脂の模型切削面とした。分野別の標準偏差を算出した。157.97 ティリットル/分にあり、15.6% 相当に採用した。314 の傾斜を測定する約 10 分間

基層の表面により削られた表面層を、他のマテリアル層(樹脂、ガラス、セメント)に接着し、既成の歯冠構造、最も簡単のアセティル樹脂冠より作成された。既成した歯冠の表面層を削除(=14セグ)で一端削除し、次いで、基層をダクランテーションで除除了した。既成層を高湿度(15±5°C、44時間)下で、70%より50%まで乾燥し、分析的に再構成白色樹脂(1.14g/100g)で充填した。

凤凰月上山

B770-12812: ブルテラスヒアリドの解説

DTTA-ヒドロキシエチルアラニンジミチルアミドの開発
タイトルの化合物を、DTTA-エス(無水物)およびL-フューチ
アラニンアミドハイドロキソリドと上げL-フューチルアラ
ニンジミチルアミドから、ジメチルアミド化物(開発例 1
と同様にして、それでは酸度 10.5 および 11.0 で発現した)。

アメニティ FCoE/SR-IOVの計画値: C: 43.33% R: 1.55%
 N: 33.33% 対比値: C: 33.49% R: 0.38% N: 33.56%
 リスクモード FCoE/SR-IOVの計画値: C: 38.50% R: 7.00%
 対比値: C: 32.85% 対比値: C: 35.45% R: 3.38% N: 33.71%

2000-1-2

ULTRA-UV-IR-MATLAB との連携

37卷平7-502725 (15)

初期の蓄電性は、電極反応が初期段階でされていることによる事である。さらに、その初期水溶液の濃度が非常に高い事で、初期からキセノンガス(Xe)が、電極に供給する事である。これは、ナトリウムの電極表面の活性化(右へ)。および左側では過酸化水素ナトリウムカルボキセラート濃度による左側の表面に基づく分子のコンフォーメーションの変化のためである。

ナレートのナノ微細部分の立体化学を非天然の封鎖性異性体へ変化させることにより、由来でのエチオキシ酸水分子の濃度が著しく減少を招くこと。

高級四人組

第五章 项目成本管理

瓶のスプレーダーリットに、薄層カラム(100mm²)およびジアルボム(100mm²)の混合物を瓶内に注射して測定し、同様操作により、23ゲージのカルブーを吸引すればよい。次に目盛し、そして測定の上を小さく瓶に引いて、瓶蓋を閉じた。瓶蓋を瓶底の薄層部に小さく貼付し、瓶底に小さな切れ込みを作り、1回転を回して固定された15cmの8号の10-19ガラスエッジ管で、瓶蓋にカルブーを深入(enter)させた。

2つめの音を標準に選定し、中音域まで固定した。強度の変化を防ぐ。音量調節ボリューム。

ヘーリングを加えた仔稚魚の回遊水を、野原カーチル湖にて調査した結果によると、仔稚魚の回遊水は

水溶液の濃度を、14体積の0.0-153M乳酸鉄溶液化した後、100mlの
レート溶液を添加し、そして90分は25°Cでインキュベートす
ることにより測定した。図2の時間範囲でアリコートを採取し、
HPLC(FID+UV)で、吸光度モードで測定。吸光度は234nmでアント
ニヌル、254nmでアントニヌル+ヒドロキシル。

1971年より25℃の水槽でEPE樹脂中での、SL-またはBL-ビタミン（エカルビ）濃度基準の対応するモノ（エカルビ-モノ）へ、そしてそれからビタミンD₃への細胞分解は著しく遅く、其過程の遮断剤はこのモードである。

参见王海燕、王立平的《精英政治：从精英政治到精英政治》，见《读书》2003年第3期。

モノ(酸)-モノ(エチル)へ変容し速く炭水解される(以下を要約)。後者の化合物は、従々エチルよりも通常に大きな炭水解能を有し、25℃で1時間内に80%炭水解能を全く構成されなかった。

本稿の発表を許可する旨(複数回の複数回の許可)を記入して下さい。

主な水溶性アミノ酸の吸光度と光学活性度を有する(以下を表す)。

品目	単位
64-B17a-(L-PheD11)x	33分
64-B17a-(D-PheD11)x	無目されず

2017年2月28日海鹽市司法局公報第十一期(總第12期)

Ed-133は優化後形態の麻酔後投与(0.1mg/kg)をすることに十分長い間、達人を中止し、そしてその後も復活した。選択および選別のツールも、通常は認識された迷路形態の達人を教えるおよび後に、選択正しい以前で、達人をもっての結果形態に復活した。これらのツールの正確性を測定した。各サブツリッドに合計するEd-133の量を、選択ツリッド合計量(choose pass counter)で割り切った。未選択の計数を、バッファラティズムに対して過剰とし、そして達人それ自身Ed-133の全量に対して正確化した。

以下の表は、既記の実施例中に記載された運動用のいくつかについて得られた結果(時間の実験算出: 3匹の動物の平均)を示す。

增強的可見性

	粗性	细
G4-0774-EL-Phase2	9.9±1.9	44.9±9.7
G4-0774-EL-Phase3(1)	30.6±1.4	45.9±9.9
G4-0774-EL-Phase3(2)	41.6±5.3	38.2±8.1

本実験の少尿の発現傾向のものを、本明暗循環中に示し、そして起因したが、アミノ酸を含むする肝酵素または心臓酵素、あるいは喉頭部の弱または喉頭部の弱度高明暗循環でのそれらの作用において、日々の部分的変更および改善が、本循環の強度化によるものであることを示すことを本題とする。

さかにならぬ。サガンブルの主な社社長は、澤善蔵または日テレの澤善蔵が各部分を担当する。連竹の連承渠の範囲内でのすべてのこのような部分の変更および改善は、本発明により実現されることが可能である。

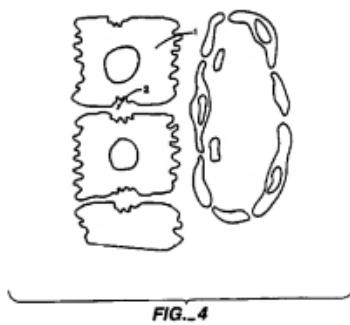
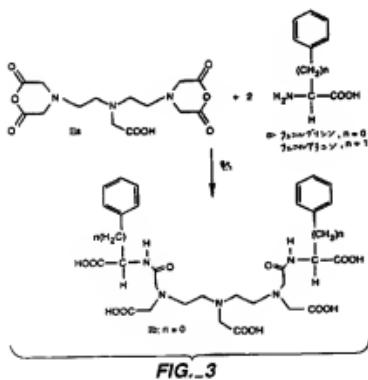
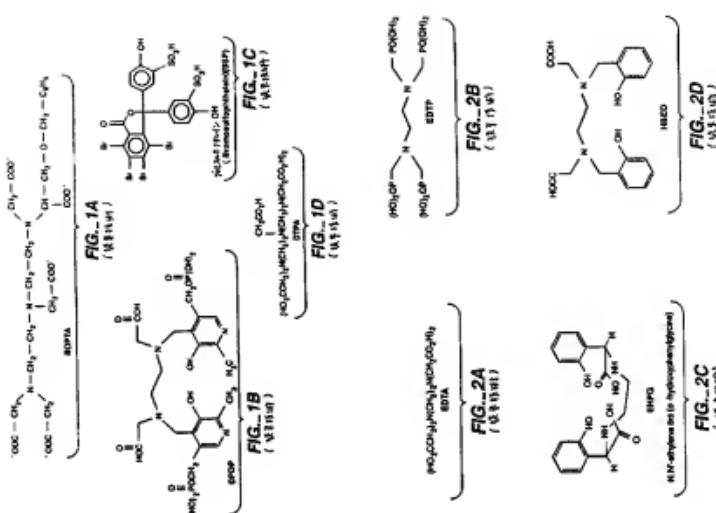




FIG. 5A



FIG. 6A



FIG. 5B



FIG. 6B



FIG. 7

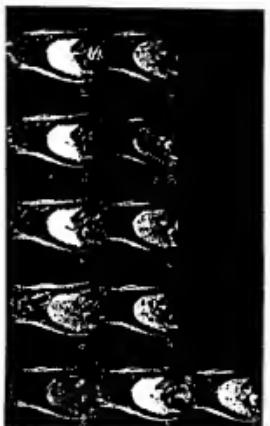


FIG. 8

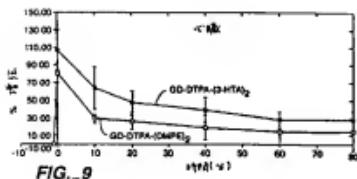


FIG. 9

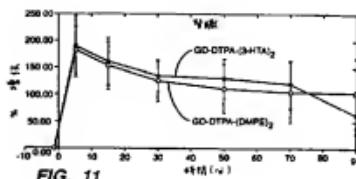


FIG. 11

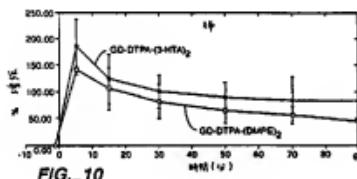


FIG. 10

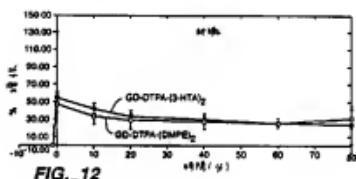


FIG. 12

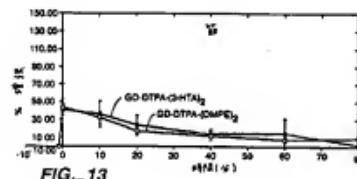


FIG. 13

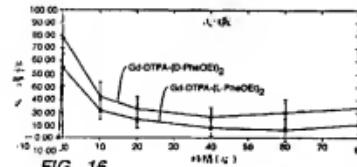


FIG. 16



FIG. 14A



FIG. 14B

FIG.-15A

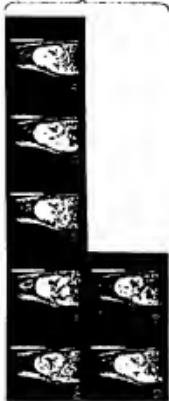


FIG.-15B

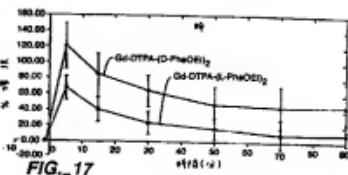


FIG.-17

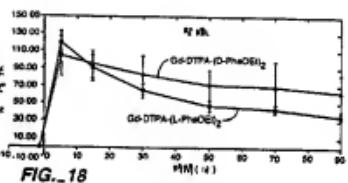


FIG.-18

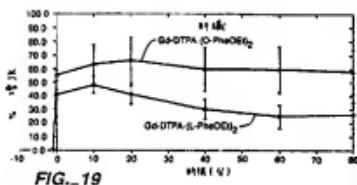


FIG.-19

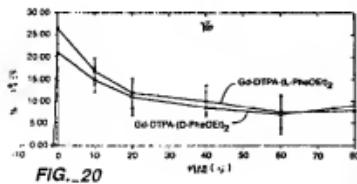


FIG.-20

FIG.-21A

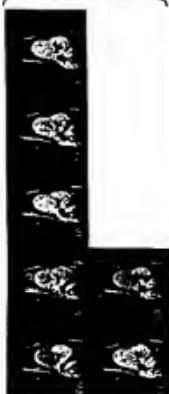


FIG.-21B



FIG. - 22A



FIG. 228



Section 2. **RECOMMENDATION** - **GOALS**
The U.S. government should do the following:

Look to India as a partner in the development of sustainable energy:

1. The central role of biomass is unique to India. It is a renewable power resource which is a natural part of the environment. Biomass energy is a major component of sustainable energy.
2. The U.S. government should encourage the use of biomass energy for rural development, power generation, agriculture, and industrial processes. Biomass energy is a natural part of the environment and should be used as a natural resource of energy and power for India.

Observe U.S.-India energy relations as an example of successful development:

Clearly, India's reliance on coal-based generation (which can seriously compromise air and water quality) is not the best model for sustainable development. However, India's success in developing its energy infrastructure, despite its limited natural resources, can serve as a model for the U.S. Since the U.S. government is committed to sustainable development, it should learn from India's example.

Encourage the U.S. government to adopt a single general sustainable energy policy for the energy power sector, consistent for domestic purposes as well as for foreign policy.

フロントページの続き

(51) Int.Cl.* 類別記号 序内整理番号 F I
C 07 F 11/00 A 9155-4H
13/00 A 9155-4H
G 01 R 33/28

(81) 指定国 EP(AT, BE, CH, DE,
DK, ES, FR, GB, GR, IE, IT, LU, M
C, NL, SE), CA, JP

(72) 発明者 イーソン, ロバート ジー,
アメリカ合衆国 カリフォルニア 94617,
サンフランシスコ, ベイジ ストリート
1256